

1

次の取引の仕訳を示しなさい。

- a. 個別原価計算を採用している東京製作所は、当月分の水道料の消費高 ¥270,000 を計上した。ただし、このうち10%は販売部の消費高であり、販売費および一般管理費勘定で処理する。
- b. 会計期末にあたり、材料消費価格差異勘定の残高を売上原価勘定に振り替えた。なお、材料消費価格差異勘定の前月繰越高は ¥12,000 (借方) であり、当月の素材の予定消費高は ¥2,480,000 実際消費高は ¥2,450,000 であった。
- c. 組別総合原価計算を採用している愛知製作所は、組間接費勘定に集計された金額を、各組の組直接費を基準としてA組とB組に配賦した。なお、当月の製造費用は次のとおりである。

	A組直接費	B組直接費	組間接費
材 料 費	¥380,000	¥700,000	¥130,000
労 務 費	¥270,000	¥520,000	¥160,000
経 費	¥50,000	¥80,000	¥210,000

- d. 工程別総合原価計算を採用している福井工業製作所は、第1工程完成品をすべて第2工程（最終工程）に投入し、第2工程において製品の完成とともに副産物が発生した。ただし、第1工程の完成品は ¥3,900,000 第2工程の総合原価は ¥6,800,000 であり、そのうち副産物の評価額は ¥750,000 であった。
- e. 工場会計が独立している新潟製造株式会社の本社は、本社の従業員に対する賞与手当 ¥2,800,000 と工場の従業員に対する賞与手当 ¥5,900,000 をともに小切手を振り出して支払った。（本社の仕訳）
- f. 製造指図書#9の製品が仕損じとなり、補修指図書#9-1を発行して補修をおこない仕損費を計上した。なお、この補修指図書に集計された製造原価は、素材 ¥28,000 賃金 ¥46,000 製造間接費予定配賦額 ¥17,000 である。

2

次の各問いに答えなさい。

- (1) 次の文の [] のなかに、適当な金額または数量を記入しなさい。
A製品を製造・販売している長野製作所は、直接原価計算をおこない利益計画をたてている。A製品の販売価格が@ ¥8,000 変動費が@ ¥4,000 固定費が ¥10,000,000 であるとき、損益分岐点における貢献利益は [¥7] であり、売上高は ¥20,000,000 である。また、目標営業利益 ¥6,000,000 を達成するための販売数量は [1] である。
- (2) 山梨製作所は、等級別総合原価計算を採用し、1級製品・2級製品の2種類の製品を製造している。下記の資料によって、次の金額を求めなさい。ただし、等価係数は各製品の1個あたりの重量を基準とし、売上製品の払出単価の計算は、後入先出法による。
- a. 当月の1級製品の製造原価 b. 当月の2級製品の製品単価（単位原価） c. 当月の2級製品の売上原価

資 料

① 当月完成品総合原価 ¥1,533,000

製 品	1個あたりの重量	当月完成品数量	月初製品数量	月末製品数量	月初製品単価
1 級 製 品	800 g	2,000個	300個	100個	¥440
2 級 製 品	600 g	2,200個	500個	200個	¥330

- (3) 標準原価計算を採用している石川工業株式会社の当月における下記の資料から、次の金額または時間を求めなさい。ただし、解答欄の () のなかに不利差異の場合は（不利）、有利差異の場合は（有利）と記入すること。

- a. 完成品の標準製造間接費 b. 当月の標準直接作業時間 c. 予算差異

資 料

① 標準原価カード（一部）

K製品	標準原価カード（製品/個あたり）		
	標準直接作業時間	標準配賦率	金 額
製造間接費	3時間	¥800	¥2,400

- ② 実 際 生 産 数 量 月初仕掛品 200個（仕上り程度50%）
完 成 品 850個
月末仕掛品 300個（仕上り程度50%）
- ③ 実際製造間接費発生額 ¥2,410,000
- ④ 実際直接作業時間 2,800時間
- ⑤ 製造間接費予算
変動費予算額 ¥900,000（変動費率 ¥300）
固定費予算額 ¥1,500,000
基準操業度（直接作業時間） 3,000時間

3

富山製作所は、個別原価計算を採用し、A製品（製造指図書#1）とB製品（製造指図書#2）を製造している。下記の資料によって、次の各問いに答えなさい。

- (1) 部門費振替表を相互配賦法によって完成しなさい。
- (2) 補助部門費を各製造部門に配賦する仕訳を示しなさい。
- (3) 第1製造部門費および第2製造部門費の配賦差異を、製造部門費配賦差異勘定に振り替える仕訳を示しなさい。
- (4) A製品（製造指図書#1）の原価計算表を作成しなさい。

ただし、i 月初仕掛品はなかった。

ii 製造間接費は部門別計算をおこない、直接作業時間を基準として予定配賦している。

資 料

a. 年間製造間接費予定額・年間予定直接作業時間

	第1製造部門	第2製造部門
年間製造間接費予定額	¥12,080,000	¥8,510,000
年間予定直接作業時間	15,100時間	11,500時間

b. 製造部門の当月直接作業時間

	第1製造部門	第2製造部門
直接作業時間	製造指図書#1 700時間	製造指図書#2 600時間
	製造指図書#2 550時間	350時間

c. 補助部門費の配賦基準

	配 賦 基 準	第1製造部門	第2製造部門	動力部門	修繕部門
動力部門費	kW数×運転時間数	25kW×600時間	20kW×500時間	——	10kW×150時間
修繕部門費	修 繕 回 数	6回	4回	2回	——

d. 完成品数量 A製品（製造指図書#1） 30個

4

静岡工業株式会社は、単純総合原価計算を採用し、A 製品を製造している。下記の資料によって、次の各問いに答えなさい。

- (1) / 月中の取引の仕訳を示しなさい。
- (2) 賃金勘定・製造勘定に記入して締め切りなさい。なお、勘定記入は日付・相手科目・金額を示すこと。
- (3) 単純総合原価計算表を完成しなさい。

ただし、i 前月繰越高は、次のとおりである。

素 材	3,700個	@ ¥480	¥1,776,000
工場消耗品	2,050 "	" " 40	¥ 82,000
仕 掛 品	¥228,000 (うち、素材費 ¥144,000 加工費 ¥84,000)		
製 品	1,900個	@ ¥960	¥1,824,000
修 繕 料 (前払高)			¥ 24,000
賃 金 (未払高)			¥ 588,000

- ii 素材の消費高の計算は先入先出法により、工場消耗品の消費数量の計算は棚卸計算法によっている。
- iii 賃金の消費高の計算には、作業時間/時間につき ¥1,050 の予定賃率を用いている。
- iv 素材は製造着手のときにすべて投入され、加工費は製造の進行に応じて消費されるものとする。
- v 月末仕掛品原価の計算は平均法による。

取 引

/ 月 4 日 素材3,250個を消費した。

9 日 素材および工場消耗品を次のとおり買い入れ、代金は掛けとした。

素 材	6,500個	@ ¥490	¥3,185,000
工場消耗品	3,500 "	" " 40	¥ 140,000

10 日 事業主負担分の健康保険料 ¥117,000 と従業員から預かっている健康保険料 ¥117,000 をともに現金で支払った。

14 日 素材4,450個を消費した。

16 日 製造経費を次のとおり小切手を振り出して支払った。

電 力 料	¥269,000	保 険 料	¥618,000	修 繕 料	¥125,000
-------	----------	-------	----------	-------	----------

25 日 賃金を次のとおり小切手を振り出して支払った。

賃 金 総 額 ¥2,973,000

うち、控除額 所 得 税 ¥268,000 健康保険料 ¥117,000

31 日 ① 工場消耗品の月末棚卸数量は1,900個であった。よって、消費高を計上した。

② 当月の作業時間は2,800時間であった。よって、賃金の予定消費高を計上した。ただし、消費賃金勘定を設けている。

③ 健康保険料の事業主負担分 ¥117,000 を計上した。

④ 当月の製造経費について、次の資料を得たので、消費高を計上した。

電 力 料	当月支払高	¥ 269,000	当月測定高	¥280,000
保 険 料	6 か 月 分	¥ 618,000		
減価償却費	年間見積高	¥5,400,000		
修 繕 料	前月前払高	¥ 24,000	当月支払高	¥125,000
	当月未払高	¥ 10,000		

⑤ 当月の製造数量について、次の資料を得た。

完 成 品 数 量 7,600個

月末仕掛品数量 400個 (仕上り程度45%)

⑥ 当月の賃金実際消費高 ¥2,968,000 を計上した。

⑦ 賃金の予定消費高と実際消費高との差額を、賃率差異勘定に振り替えた。

⑧ 当月の製品の販売 (掛け売り) について、次の資料を得たので、売上高および売上原価を計上した。

売 上 数 量 8,000個

販 売 単 価 ¥1,500 払出単価 (原価) ¥1,020

1

	借方	貸方
a		
b		
c		
d		
e		
f		

2

- (1) ア 円 イ 個
- (2) a 当月の1級製品の製造原価 円 b 当月の2級製品の製品単価(単位原価) 円
- c 当月の2級製品の売上原価 円
- (3) a 完成品の標準製造間接費 円 b 当月の標準直接作業時間 時間 c 予算差異 円 ()

3

- (1) 部門費振替表
相互配賦法
平成○年/月分
- | 部門費 | 配賦基準 | 金額 | 製造部門 | | 補助部門 | |
|---------|-----------|-----------|---------|---------|---------|---------|
| | | | 第1部門 | 第2部門 | 動力部門 | 修繕部門 |
| 部門費合計 | | 1,700,000 | 717,000 | 508,000 | 265,000 | 210,000 |
| 動力部門費 | kW数×運転時間数 | | | | — | |
| 修繕部門費 | 修繕回数 | | | | | — |
| 第1次配賦額 | | | | | | |
| 動力部門費 | kW数×運転時間数 | | | | | |
| 修繕部門費 | 修繕回数 | | | | | |
| 第2次配賦額 | | | | | | |
| 製造部門費合計 | | | | | | |
- (2) 借方 貸方
- (3) 借方 貸方
- (4) 製造指図書# / 原価計算表
- | 直接材料費 | 直接労務費 | 製造間接費 | | | | 集計 | |
|-----------|-----------|-------|----|-----|----|-------|-----|
| | | 部門 | 時間 | 配賦率 | 金額 | 摘要 | 金額 |
| 2,096,000 | 1,820,000 | 第1 | | | | 直接材料費 | |
| | | 第2 | | | | 直接労務費 | |
| | | | | | | 製造間接費 | |
| | | | | | | 製造原価 | |
| | | | | | | 完成品数量 | 30個 |
| | | | | | | 製品単価 | 円 |

試験場校	受験番号

原計の1得点

4 (1)

		借方	貸方
1月 4日			
9日			
10日			
14日			
16日			
25日			
3/日	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
	⑦		
	⑧		

(2)

賃

金

製

造

1/1 前月繰越 588,000 1/1 前月繰越 228,000

(3)

単純総合原価計算表

平成○年/月分

摘要	材料費	加工費	合計
材料費			
労務費			
経費			
計			
月初仕掛品原価			
計			
月末仕掛品原価			
完成品原価			
完成品数量	7,600個	7,600個	7,600個
製品単価	¥	¥	¥

試験場校	受験番号

原計の2得点

総得点

1

	借	方	貸	方
a	製造間接費 販売費および一般管理費	243,000 27,000	水道料	270,000
b	材料消費価格差異	18,000	売上原価	18,000
c	A組製造 B組製造	175,000 325,000	組間接費	500,000
d	第2工程製造 製品 副産物	3,900,000 6,050,000 750,000	第1工程製造 第2工程製造	3,900,000 6,800,000
e	従業員賞与手当 工場	2,800,000 5,900,000	当座預金	8,700,000
f	仕損費	91,000	素 賃 製 造 間 接 材 金 費	28,000 46,000 17,000

2

(1)	ア	10,000,000	イ	4,000 個
-----	---	------------	---	---------

(2)

a	当月の1級製品の製造原価	¥	840,000	b	当月の2級製品の製品単価(単位原価)	¥	315
c	当月の2級製品の売上原価	¥	792,000				

(3)

a	完成品の標準 製造間接費	¥ 2,040,000	b	当月の標準 直接作業時間	2,700 時間	c	予算差異	¥ 70,000 (不利)
---	-----------------	-------------	---	-----------------	----------	---	------	---------------

3

(1)

部 門 費 振 替 表	
1	2
3	4
5	6
7	8
9	10
11	12
13	14
15	16
17	18
19	20
21	22
23	24
25	26
27	28
29	30
31	32
33	34
35	36
37	38
39	40
41	42
43	44
45	46
47	48
49	50
51	52
53	54
55	56
57	58
59	60
61	62
63	64
65	66
67	68
69	70
71	72
73	74
75	76
77	78
79	80
81	82
83	84
85	86
87	88
89	90
91	92
93	94
95	96
97	98
99	100

相互配賦法

平成〇年/月分

部 門 費	配 賦 基 準	金 額	製 造 部 門		補 助 部 門	
			第 1 部 門	第 2 部 門	動 力 部 門	修 繕 部 門
部門費合計		1,700,000	717,000	508,000	265,000	210,000
動力部門費	kW数×運転時間数	265,000	150,000	100,000	——	15,000
修繕部門費	修 繕 回 数	210,000	105,000	70,000	35,000	——
第1次配賦額		475,000	255,000	170,000	35,000	15,000
動力部門費	kW数×運転時間数	35,000	21,000	14,000		
修繕部門費	修 繕 回 数	15,000	9,000	6,000		
第2次配賦額		50,000	30,000	20,000		
製造部門費合計		1,700,000	1,002,000	698,000		

(2)

借 方		貸 方	
第 1 製 造 部 門 費	285,000	動 力 部 門 費	265,000
第 2 製 造 部 門 費	190,000	修 繕 部 門 費	210,000

(3)

借 方		貸 方	
製造部門費配賦差異	2,000	第 1 製 造 部 門 費	2,000
第 2 製 造 部 門 費	5,000	製造部門費配賦差異	5,000

(4)

製造指圖書并/

原 價 計 算 表

直接材料費	直接勞務費	製 造 間 接 費				集 計	
		部 門	時 間	配賦率	金 額	摘 要	金 額
2,096,000	1,820,000	第 1	700	800	560,000	直 接 材 料 費	2,096,000
		第 2	600	740	444,000	直 接 勞 務 費	1,820,000
					1,004,000	製 造 間 接 費	1,004,000
						製 造 原 価	4,920,000
						完 成 品 数 量	30個
						製 品 単 価	¥ 164,000

4 (1)

		借 方		貸 方	
1月 4日		製 造	1,560,000	素 材	1,560,000
9日		素 材 工 場 消 耗 品	3,185,000 140,000	買 掛 金	3,325,000
10日		健 康 保 険 料 健康保険料預り金	117,000 117,000	現 金	234,000
14日		製 造	2,176,000	素 材	2,176,000
16日		電 力 料 保 險 料 修 繕 料	269,000 618,000 125,000	当 座 預 金	1,012,000
25日		賃 金	2,973,000	所 得 税 預 り 金 健康保険料預り金 当 座 預 金	268,000 117,000 2,588,000
3/日	①	製 造	146,000	工 場 消 耗 品	146,000
	②	製 造	2,940,000	消 費 賃 金	2,940,000
	③	製 造	117,000	健 康 保 険 料	117,000
	④	製 造	992,000	電 力 料 保 險 料 減 価 償 却 費 修 繕 料	280,000 103,000 450,000 159,000
	⑤	製 品	7,866,000	製 造	7,866,000
	⑥	消 費 賃 金	2,968,000	賃 金	2,968,000
	⑦	賃 率 差 異	28,000	消 費 賃 金	28,000
	⑧	売 掛 金 売 上 原 価	12,000,000 8,160,000	売 上 品	12,000,000 8,160,000

(2)		賃 金	製 造
1/25 諸 口	2,973,000	1/1 前月繰越 588,000	1/1 前月繰越 228,000
31 次月繰越	583,000	31 消費賃金 2,968,000	1/31 製 品 7,866,000
	<u>3,556,000</u>	<u>3,556,000</u>	" 次月繰越 293,000
			4 素 材 1,560,000
			14 素 材 2,176,000
			31 工場消耗品 146,000
			" 消費賃金 2,940,000
			" 健康保険料 117,000
			" 諸 口 992,000
			<u>8,159,000</u>
			<u>8,159,000</u>

(3) 単純総合原価計算表
平成〇年/月分

摘 要	素 材 費	加 工 費	合 計
材 料 費	3,736,000	146,000	3,882,000
労 務 費	—	3,057,000	3,057,000
経 費	—	992,000	992,000
計	3,736,000	4,195,000	7,931,000
月 初 仕 掛 品 原 価	144,000	84,000	228,000
計	3,880,000	4,279,000	8,159,000
月 末 仕 掛 品 原 価	194,000	99,000	293,000
完 成 品 原 価	3,686,000	4,180,000	7,866,000
完 成 品 数 量	7,600個	7,600個	7,600個
製 品 単 価	¥ 485	¥ 550	¥ 1,035